

内閣府 知的財産戦略推進事務局 提出資料

平成29年9月26日



Japan. Cool Japan.



Japan. "Kampai" to the world.
Sake & Shochu

クールジャパン拠点の構築やネットワーク化を推進

2016年

5月 「クールジャパン拠点構築検討会」 立ち上げ

拠点に必要な機能の明確化（情報発信、人材育成、産業創出）

<平成28年度経済対策事業>

クールジャパン拠点連携実証調査

日本産酒類関係を含む拠点連携に取り組む7件のプロジェクトを実施（次頁参照）

2017年

5月 検討会最終とりまとめ

フィードバック

拠点連携に関する方策・ノウハウ等を取りまとめ、全国展開

全国のクールジャパン拠点の連携による機能強化

日本産酒類関連のクールジャパン拠点連携実証調査（1）

目的

日本酒の生産者や流通業者、小売業者、さらには酒器等の関連分野が相互に連携し、海外富裕層への影響力が大きいインフルエンサーに対して日本酒や関連するクールジャパン資源の魅力を分野横断的・一体的に発信して販路拡大を図る「海外富裕層向けマーケティングモデル」を確立することにより、日本酒等の輸出拡大につなげる。

プロジェクト概要

視察・商談ツアーやシンポジウムの実施（2/5 9）

- ・ 日本酒の消費量が多く、今後の発展性が見込めるアメリカと香港の富裕層への影響力が大きいインフルエンサーを招聘し、「日本酒を嗜む空間」をテーマとする視察・商談ツアーを実施。
- ・ ツアーにあわせ、長野県において、県内の酒蔵関係者等を対象に、招聘者をパネリストとするシンポジウムを開催。

（招聘したインフルエンサー）



ロブ・シンスキー

米国の名門ワイナリーオーナー



マリア・シンスキー

ワイナリー経営に携わるとともに、料理研究家としても有名



ダナ・ユーウィン

NYのレストランChiefs Clubのクリエイティブ・ディレクター



ジャック・謝

ザ・ペニンシュラホテル香港の日本食レストラン「今佐」のジェネラルマネージャー

上記インフルエンサーに加えて、香港の食と料理の専門誌「Eat & Travel」や、日本の訪日外国人向けメディア「Voyapon」、日本酒専門メディア「Saketimes」が同行。また、通訳ガイドとして、日本及び日本酒に詳しいジャスティン・ポッツ氏などが参加。

日本酒を嗜む空間の提示



日本の酒情報館



酒蔵@茨城

須藤本家

国内拠点の連携



小売店

はせがわ酒店



酒蔵@長野

松葉屋本店



枅一 市村酒造場

岡崎酒造

インフルエンサーの発信効果やバイヤーの取引動向を分析し、訴求効果の高い拠点連携の在り方を検証

海外富裕層への訴求効果の高い国内拠点のネットワーク化により日本酒等の輸出拡大

日本酒と関連分野を組み合わせた海外富裕層向けマーケティングモデルの構築（2）

<今回参加したインフルエンサーなどの主な意見>

↑
酒



<http://www.masuichi.com/masuichi/>

高級感のあるボトルデザイン

・海外では高級ワインと同等に数万円の単価で扱われる場合も多い。単価にふさわしい高級感のあるボトルデザインが必要。

外国語での情報提供

- ・ボトルの裏ラベルでいいので、お酒や酒蔵の名前と住所、連絡先くらいは、英語の表記があるといい。
- ・酒蔵の歴史やお酒の特徴などを説明する外国語のパンフレットやwebサイトがあるとよい。

酒造り



<http://www.ueda.ne.jp/okazaki/>



<http://www.sudohonke.co.jp/>

わかりやすいストーリー

・お客様にお酒の特徴を説明する際に、わかりやすいストーリーがあるといい。例えば今回訪問した岡崎酒造が、酒米作りを通して地域の棚田の風景を守ろうとしているといった話はすばらしい。

酒造りのこだわり、歴史、文化

・ストーリーだけでなく、そのお酒の背景にあるこだわりや歴史・文化がわかるといい。今回訪問した須藤本家は、800年以上の歴史を持つ酒蔵で当時使っていた井戸なども見学できる。

食・空間



<http://www.kyakuden.jp/>



お酒と一緒に楽しむ食事

・お酒は食事と一緒に楽しんでこそ、良さがひきたつ。お酒の特徴を説明する際も、食事のどのタイミングで、どんな食事と合わせるとよさがひきたつのかを説明できるといい。

お酒と食事を楽しむ空間

・お酒と食事を楽しむ空間も大切。今回、利用した小布施の酒蔵の一部を改装した和食レストラン「蔵部」などはすばらしい空間デザインだった。

観光等
↓



<http://hokusai-kan.com/>



<http://www.ueda.ne.jp/okazaki/>

酒蔵周辺の観光資源など

- ・訪問する酒蔵やレストランなどの周辺に、お酒と直接関係なくてもいいので、日本の文化や歴史などに触れられる場所があるといい。
- ・今回訪問した小布施町の柁一市村酒造場の一角は昔の街並みを再現したり、歩いてすぐの場所に北斎館やレストラン、ショップなど様々な施設がある。また、上田市の岡崎酒造がある柳町も街並みを保存しており、天然酵母のパン屋に特に女性の訪問者が関心を持った。

クールジャパン地域セミナー

地域におけるクールジャパンの推進に資するため、知財事務局より地域へ赴き、クールジャパンの拠点構築や人材育成、日本産酒類の輸出促進など、各種検討事項や国のクールジャパン関連事業を通じて得られたノウハウ等を説明。

第2回 播磨圏域クールジャパンセミナー（平成29年8月21日）

3月に改定した「日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針について」の紹介や日本酒に関するクールジャパン拠点連携実証調査を通じて得られたノウハウ等を含め説明。

- コンテンツを活用した地域活性化
- インバウンド・アウトバウンド促進における国際戦略の重要性
- 日本産酒類の海外展開に向けた政府の取組
 - 日本産酒類の輸出動向
 - 日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針について
 - 日本酒の海外富裕層向け展開（内閣府実証事業）

セミナー終了後、播磨地域の酒類製造者と意見交換



（参考）コンテンツを活用した地域活性化事例に関する紹介（日本酒関係） ～地域プロモーションを見据えたコンテンツ制作～

作品の企画段階からアニメツーリズム・地域連携を見据えた取組を企画した事例。松本零士氏による『戦国のアルカディア』プロジェクト

- 各地方の「武将」をキャラクター化
- 各県の酒蔵とのコラボレーション



地方版クールジャパン推進会議

地方のクールジャパン資源の発掘・発信を目的として、クールジャパン戦略担当の大臣や副大臣と、会議開催地域の自治体や有識者等と一緒に、クールジャパンの取組に関する成功事例や課題を議論。これまでに11回開催し、平成29年度は和歌山県で開催。

第11回 和歌山県岩出市（平成29年7月15日）

日本産酒類の関係者（和歌山県酒造組合連合会会長）等を含む、和歌山県内外の有識者の方々と議論。

日本酒や梅酒を日本食文化とともに欧米へ展開する取組や、自社工場を開放したインバウンドの取組等について意見交換。



クールジャパン・アンバサダー

クールジャパンの発信力強化を目的に、日本ファンの外国人や、海外で活躍する日本人等国際的に発信力のある食や観光等の分野の専門家をアンバサダーとして任命（42名）。日本産酒類関係者は6名を任命。

平成28年以降に就任したクールジャパン・アンバサダー

クリストファー・ペレグリニ

(俳優、焼酎唎酒師)

平成28年11月任命



アメリカ出身。スペインと韓国を経て日本を訪れた時に焼酎と泡盛に出会い、夢中になる。何年もの勉強を重ね、焼酎唎酒師の資格を獲得。

今では、日本の食文化を紹介するセミナーやインターネット番組のホスト、フードコンサルティングの他、オックスフォード大学出版局によるThe Oxford Companion to Spirits and Cocktailsにおいて焼酎と泡盛について寄稿するなど様々に活躍している。

ジャスティン・ポッツ

(株式会社Umari 国際
ビジネス開発ディレクター)

平成29年3月任命



1981年アメリカ・ワシントン州生まれ。来日後関東・関西を行き来しPR・国際ビジネス展開のプランニング、記事の執筆・編集などを中心に活動。現在は「六本木農園」や「International TERAKOYA」にて都会と地方を繋ぐプログラムを企画・運営している。唎き酒師でもあり、日本各地の酒蔵を巡って日本酒のイベントやプロモーションの仕掛けなども行っている。

既存のクールジャパン・アンバサダー

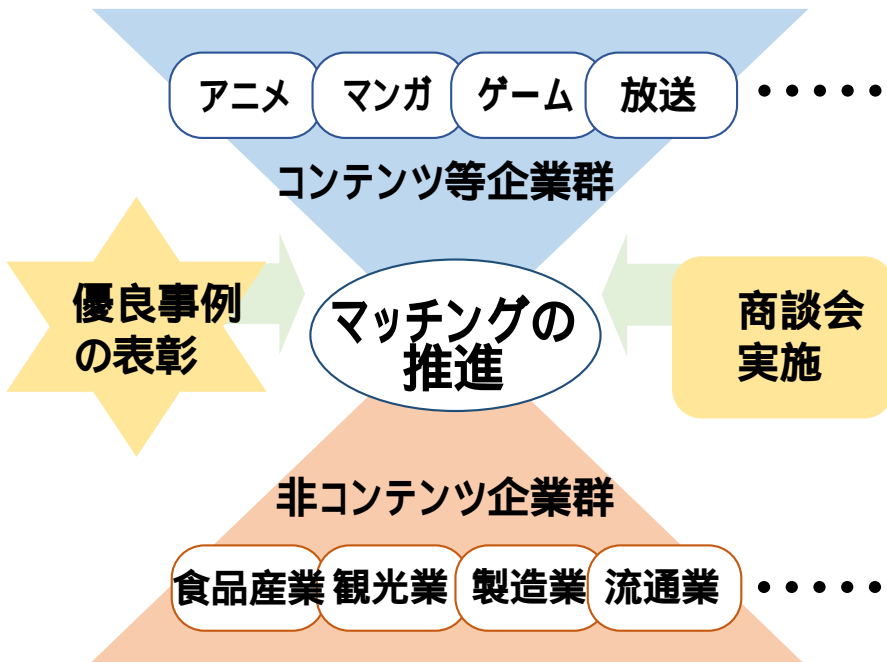
名前（敬称略）	肩書き	出身	居住地		分野
			国	都市	
クリス アシュトン	William Reed Business Media 社 イベントディレクター	英国	英国	ロンドン	食・日本酒
ジョン ゴントナー	Sake World Inc 社 代表取締役	米国	日本	神奈川	食
スティーブン ライマン	日本酒造組合中央会 ニューヨークサポートデスク	米国	米国	ニューヨーク	食・日本酒
アンドリュー リード	William Reed Business Media 社 イベント&エクシビジョン マネージング・ディレクター	英国	英国	ロンドン	食・日本酒

クールジャパン・マッチングフォーラム

クールジャパン官民連携プラットフォームの活動の一環として、我が国の魅力あるコンテンツ等を軸として異業種が連携し、新たな商品・サービス等を創出していくことを後押しするため、異業種が連携した優良な事例の表彰、異業種連携によるビジネス組成のための商談会を実施。

今年度は12月4日(月)に開催。現在マッチングアワード、メッセ出展社を募集中。
日本産酒類に関連する案件についても募集中

マッチングのイメージ



前回の表彰事例：

『KABUKI LION 獅子王』と『超歌舞伎・今昔饗宴千本桜』

伝統文化



先端技術

歌舞伎と日本のテクノロジーを組み合わせせた「新しいエンターテインメントイベント」を国内、海外で展開。



『KABUKI LION 獅子王』
公演ポスター



『超歌舞伎・今昔饗宴千本桜』
公演ポスター

前回の成約事例：『キャラクターデザインタオル』

今治産タオル



温泉むすめ

今治タオルと、エンバウンド社の各地の温泉をイメージしたキャラクター「温泉むすめ」がマッチングして「温泉むすめ ジャカード織バスタオル」として商品化、5月14日販売。